

要旨

アポトーシスは最終的に蛋白分解酵素である実行カスパーゼが活性化し、特定の蛋白質（デスサブストレイト）を分解することにより進行する。我々は癌抑制蛋白 **hScrib** のアポトーシスへの関与とその機能を検討した。**hScrib** はアポトーシスが進行する過程で実行カスパーゼ、特にカスパーゼ 3 によって分解を受けるデスサブストレイトであることがわかった。**hScrib** におけるカスパーゼ 3 の切断部位は 504 番目のアミノ酸の C 末側である。この部位は細胞接着に関わる蛋白複合体を崩壊させるのに効果的な切断部位であることが推測される。アポトーシスが進行する過程で **hScrib** が分解されることによりアドヘレンスジャンクションを形成する蛋白質の分解が進行し、細胞接着の崩壊が促されることによって異常細胞を正常細胞から離解させるというシステムの可能性が示された。